

外来診療予定表(4月)

★:女性の医師 赤字:変更となった診療

診療科	月	火	水	木	金	土	
総合診療部 (外科・内科)	午前	★塩田美桜(外科) 第1.3.4 塩田総院長(外科) 第2	大野(外科)	大野(外科)	鈴木副院長(外科) 第1.2.4	鈴木副院長(外科) 第1.2.4	★塩田美桜(外科) 守(禁煙外来) 第1.2.4 ※午後休診※
	午後	小坂 (下肢静脈瘤専門外来) 第2.4	—	守(外科)	—	—	—
	午前	守(肛門外来) 第1.4	—	★渡部(内科) 受付15:30まで	鶴岡(内科)	★大友(内科)	千葉大(交代制) 第1.3 ※午後休診※
	午後	—	★渡部(内科) 受付15:30まで		—	—	
	午前	大木 (肝臓内科・内科)	—	—	—	—	大木 (肝臓内科・内科) 第4 ※午後休診※
	午後			由井(糖尿病外来) 初診受付16:00まで	大木 (肝臓内科・内科)	—	
内視鏡 (胃・大腸)	午前	★塩田美桜(胃) 第1.3.4 塩田総院長(胃) 第2	—	鈴木副院長(胃)	大野(胃)	大木(胃)	—
	午後	★塩田美桜(大腸) 第1.3.4 塩田総院長(大腸) 第2	—	鈴木副院長(大腸)	大野(大腸)	—	—
◎内視鏡検査は事前に診察が必要となります。検査の予約のみをお取りすることはできませんので、予めご了承ください。							
脳神経外科	午前	近藤	—	★金岡	青柳	青柳	★金岡 第1.3 青柳 第2.4
整形外科	午前	塩田院長	塩田院長 第2.4	塩田院長	塩田院長	—	塩田院長 第2.4 ※午後休診※
	午後	—	—	—		—	—
	午前	—	石井(予約制) 第1.3.5	—	—	丸岩	石井(予約制) 第1.3 ※午後休診※
	午後	—		石井(予約制)	石井(予約制)		
	午前	—	山之内	—	—	金城	山田 第3 今井 第4 ※午後休診※
午後	—	—		—	金城 第1.4		
循環器内科	午前	亀田総合病院 (交代制)	—	中津	亀田総合病院 (交代制)	大橋 第1.2.4	水上 第1
午後	—		—	—		—	—
婦人科	午前	遠藤名誉院長	遠藤名誉院長	—	遠藤名誉院長 第2.4	—	遠藤名誉院長
	午後		—	—		遠藤名誉院長	—
サイバーナイフ 外来	午前	大木	—	—	宇野 第1.3.4	—	大木 第4
	午後		—	—	—	大木	—
脳神経内科	午前	—	片多(予約制)	平田	—	—	—
耳鼻咽喉科	午前	小谷 初診受付16:00まで	—	—	★スミス 第1.3 初診受付16:00まで	河合 初診受付11:00まで	—
	午後		—	—		—	—
泌尿器科	午前	—	—	—	日本医大	—	日本医大 第3
	午後	—	—	—		—	—

◎診療予定は変更となる場合があります。院内『お知らせコーナー』や『ホームページ』または、電話にてご確認ください。
 ◎当日のご予約はお取りすることができません。必ず前日までにお取りください。 ◎当日、急遽休診になる場合がありますので、ご了承ください。
 ◎保険証は毎月確認させていただきますのでお持ちください。また、お薬手帳もございましたら必ずお持ちください。
 ◎外来受診に関する詳しい案内は『ホームページ』よりご確認ください。

受付時間:(月～金)8:30～11:30/13:30～16:30 (土)8:30～11:30

予約専用ダイヤル:0475-35-0002 (月～金)8:30～17:00

※お電話をおかけの際、診察券をお持ちの方はお手元にご用意ください。 ※当日予約なしで受診希望の際は電話にてご確認ください。



医療法人SHIODA塩田記念病院広報誌

塩田記念病院だより

Vol.129 2024年4月号

医療法人SHIODA塩田記念病院 総務課発行 ホームページ:https://www.s-fmc.jp
 〒297-0203 千葉県長生郡長柄町国府里550-1 Tel:0475-35-0099 Fax:0475-35-0098

病気の豆知識～ピロリ菌感染について～

かつて胃の中は胃酸の分泌で強い酸性環境にあるため細菌が生息できないと考えられていましたが、1982年にヘリコバクターピロリ(ピロリ菌)が自ら胃酸を中和することによって胃内に生息していることがわかりました。その後の研究でピロリ菌の感染が原因で慢性胃炎や胃・十二指腸潰瘍、胃がんを引き起こすことがわかってきました。また胃MALTリンパ腫、特発性血小板減少性紫斑病や慢性蕁麻疹などの疾患にも関連しています。したがってピロリ菌感染の有無を検査すること、治療することはこれらの疾患の予防、治療に有効であると考えられています。

(原因)経口感染と考えられており、衛生環境不良な発展途上国で感染者が多いとされています。わが国でも高齢者には感染者が多く衛生環境改善に伴い若年者には少ないことがわかっています。

(診断)内視鏡による生検組織検査、尿素呼気法、血中抗体、便中抗原などがありますが、胃がん検診では血中抗体検査が採用されています。

(治療)除菌薬(2種類の抗菌薬と胃酸分泌抑制薬の組み合わせ)を1週間内服します。その後前述の検査でピロリ菌が消失したことを確認し除菌完了とします。これにより9割以上の患者さんは除菌が完了します。残りの1割の患者さんもさらに強力な2次除菌薬でほぼ除菌できるといわれています。

(治療後)ピロリ菌の除菌が完了しても、それ以前に罹患した慢性胃炎はそれ以上の進行を防ぐことができますが治癒するわけではないので、引き続き定期的な検査が必要です。



塩田記念病院 副院長
総合診療部 外科部長
鈴木 英之

病院からのお知らせ

■常勤医師着任のお知らせ

4月より新たに常勤医師が着任いたします。
 外来診療日については4月の診療予定表をご確認ください。

- 外科 守 正浩(もり まさひろ)医師 寺田病院より
- 外科 塩田 美桜(しおだ みお)医師 塩田病院より
- 脳神経外科 金岡 杏純(かねおか あずみ)医師 東京医科歯科大学より
- 脳神経外科 近藤 和樹(こんどう かずき)医師 東京医科歯科大学より
- 内科 鶴岡 淳(つるおか じゅん)医師 帝京大学ちば総合医療センターより

※脳神経外科 石和田医師、團医師、内科 石澤医師は3月末にて退職となります。



病院からのお知らせ

■非常勤医師着任のお知らせ

4月より新たに医師が着任いたします。症状にお悩みの方はお気軽にご相談ください。

循環器内科	亀田総合病院医師(交代制) 高野 寿一(こうの としかず)医師 (不整脈医) 大野 真紀(おの まき)医師 (不整脈医)
内科	大友 祐果(おとも ゆうか)医師 毎週金曜日 日本医科大学千葉北総病院より
整形外科	丸岩 良悠(まるいわ りょうすけ)医師 毎週金曜日 国際医療福祉大学より

※整形外科 岡崎医師、循環器内科 竹川医師、中田医師、内科 朱医師、大橋医師、泌尿器科 大林医師、柳医師は3月末で退職となります。

■医療公開講座開催のお知らせ

5月25日(土)に医療公開講座を開催いたします。今回は、外科 守正浩医師、外科 塩田美桜医師、リハビリテーション科による講演となります。

日時:令和6年5月25日(土) 14:00~15:30 (受付開始)13:30~

会場:塩田記念病院1階ロビー

演者:外科 医師 守正浩
外科 医師 塩田美桜
リハビリテーション科 作業療法士 永井龍雅

申し込み:0475-35-0031(9:00~17:00 ※日・祝を除く)
※座席指定 順番はお申込み順となります。

事前申込制
(定員60名)
参加無料

来場者特典
無料便潜血検査
※希望者は当日
受付時に申し出
ください

病棟看護師
日勤と夜勤で
色が違います

4月から

ユニフォームが変わります

看護師



日勤
8:30~17:30
遅番
11:00~20:00



夜勤
17:00~9:00



外来PSR
看護補助者

Illustrator 小白はく

看護職員の働き方改革の一環として、ユニフォームの色をシフト別にしました。お尋ねの際には、なるべくその勤務時間内の看護職員に、お声がけくださいますようお願いいたします。

栄養士の独り言

春の日差しをあたたかさには気持ちも軽やかにしてくれる気がします。桜の便りももうすぐですね。今年も秋に植えたチューリップが花開く準備をしています。皆様いかがお過ごしでしょうか。

あたたかくなると気になるのが花粉症ですね。この時期、様々な症状でお悩みの方も多いかと思います。花粉症が原因で食物アレルギーをきたすことがあることをご存知でしょうか。今月は果物の話題はお休みし、「花粉・食物アレルギー症候群(PFAS)」についてお話ししたいと思います。



花粉症の方が食物を摂取した時に口腔・咽頭・口唇粘膜に刺激や搔痒感などのアレルギー症状を発症する疾患の事を「花粉・食物アレルギー症候群(PFAS)」と言います。食物の中に含まれるアレルギー原因物質(アレルゲン)と花粉の抗原(アレルゲン)がよく似ていることで起こります。似ている花粉に対しても反応してしまう「交差反応」を起こしてしまうのです。症状の多くは口腔・咽頭にありますが、稀に消化器症状(嘔吐や下痢)、アナフィラキシーショックといった重篤な場合もあります。PFASの原因となる食品は生野菜や果物、豆類があります。これらの食品のアレルゲンは消化酵素に弱いので胃や腸で分解されやすいため、口や喉など直接触れやすい場所に反応が起きることが多いことから、食物によるアレルギー症状を「口腔アレルギー症候群(OAS)」と言います。イガイガやヒリヒリする程度の軽い症状だからといって食べ続けると重症化する可能性があるので注意しましょう。

PFASを引き起こしやすい食品は花粉の種類によって異なります。

<春> ハンノキ・白樺→リンゴ・桃・大豆(豆乳)など
スギ・ヒノキ→トマト

<夏> オオアワガエリ・カモガヤ→メロン・スイカ・キウイなど

<秋> よもぎ→セロリ・人参など
ブタクサ→メロン・スイカなど



これらの食品は生の果物などで発症することが多いので加熱して摂取するのをお勧めします。今回はスギ花粉対策レシピを紹介するのでそちらもお楽しみに。

食事から花粉症対策として豆知識を。花粉症の炎症物質であるヒスタミンを体内で生成しにくくするのも大切。高脂肪の食事はヒスタミンを生成しやすくなるので注意しましょう。油脂の多いお肉料理や油を多く使った料理や食品、アルコールは控えにしましょう。

花粉症と食品の関係、いかがでしたか。お食事にも気をつけて花粉症を乗り切りましょう。次回は千葉の特産果物をご紹介します。まだ寒暖差がある時期です。ご自愛くださいませ。次回もお楽しみに。

参考資料 Wikipedia 日本食品成分2020 厚生労働省 日本人の食事摂取基準2020年版 農林水産省HP 日本アレルギー学会HP

栄養科 管理栄養士 戸矢 静華

季節の果物レシピ

今回は花粉症対策レシピ。スギ・ヒノキの花粉症との交差反応を予防するためにトマトの加熱料理レシピをご紹介します。

ミニトマトやトマトに少し切り込みを入れ、耐熱容器に入れ電子レンジで1分ほど加熱します。お好みで塩・胡椒、お酢やオリーブオイル、ドライパセリやハーブを加えて冷蔵庫に。サラダのドレッシング替わりになりますし、おしゃれな冷菜になります。

めんつゆやだしつゆなど、ごま油をあたたかいトマトに少しかけて食卓へ、手軽に副菜が完成します。みなさま是非お試しください。

